

次第

第49回 宇都宮市環境審議会

1 開会

2 議事

- ・「宇都宮市の温室効果ガス排出量（令和4年度（暫定版））」及び「宇都宮の環境（環境状況報告書 令和6年度版）」について
 - 資料1，別紙1・2，別冊1

3 その他

- ・令和6年度における脱炭素化の取組状況と令和7年度における脱炭素化の取組方針等について
- ・事務連絡

4 閉会

令和7年3月26日（水） 午前10時00分～11時30分
宇都宮市役所14階 14A会議室

環境部 環境創造課



◎:会長 ●:副会長

氏 名	役 職 等
石川 京樹	宇都宮市議会議員
手塚 泉	//
福田 智恵	//
成島 隆裕	//
森嶋 佳織	作新学院大学女子短期大学部 講師
◎横尾 昇剛	宇都宮大学 教授
北浦 さおり	宇都宮共和大学 准教授
加藤 彰	帝京大学理工学部 教授
高梨 弘幸	栃木県地球温暖化防止活動推進 センター センター長
稲葉 全郎	宇都宮市医師会 理事

氏 名	役 職 等
半田 光隆	宇都宮農業協同組合 代表理事専務
篠崎 務	宇都宮商工会議所 議員
小牧 裕昭	宇都宮青年会議所 副理事長
●増渕 弘子	うつのみや環境行動フォーラム 理事
小林 紀夫	宇都宮市青少年育成市民会議 副会長
小金澤 頼子	宇都宮市女性団体連絡協議会 副会長
大森 幹夫	宇都宮市自治会連合会 副会長
高橋 好幸	宇都宮地方气象台 次長
稲見 正雄	公募委員
西口 璃空	//

宇都宮市の温室効果ガス排出量 (令和4年度(暫定版))について

【趣旨】

令和4年度(暫定)の宇都宮市の温室効果ガスの排出量を算出したことから、その内容について報告するもの

【目次】

1. 温室効果ガス排出量の算定方法について
2. 宇都宮市の温室効果ガス排出量の推移
3. 宇都宮市と全国の二酸化炭素排出量
4. 今後の取組について

1 温室効果ガス排出量の算定方法について

温室効果ガス排出量は、直接大気を測定するのではなく、統計データなどに基づき排出量を推計しています。推計には国等が発表する統計データを使用し、人口や建物の延床面積などの案分等により排出量を推計します。また、2年遅れで公表されるため、最新の推計データが2022(令和4)年度の温室効果ガス排出量となっています。

宇都宮市における温室効果ガス排出量算定対象とする部門

部門	活動内容等
産業部門	製造業，建設業，鉱業，農業における電気や燃料の消費
民生（家庭）部門	家庭（自動車を除く）における電気や燃料の消費
民生（業務）部門	事業所ビル，飲食店，学校等（自動車を除く）における電気や燃料の消費
運輸部門	自動車（家庭用・事業用），鉄道による電気や燃料の消費
廃棄物部門	家庭系ごみ，事業用ごみの処理

算定の部門について

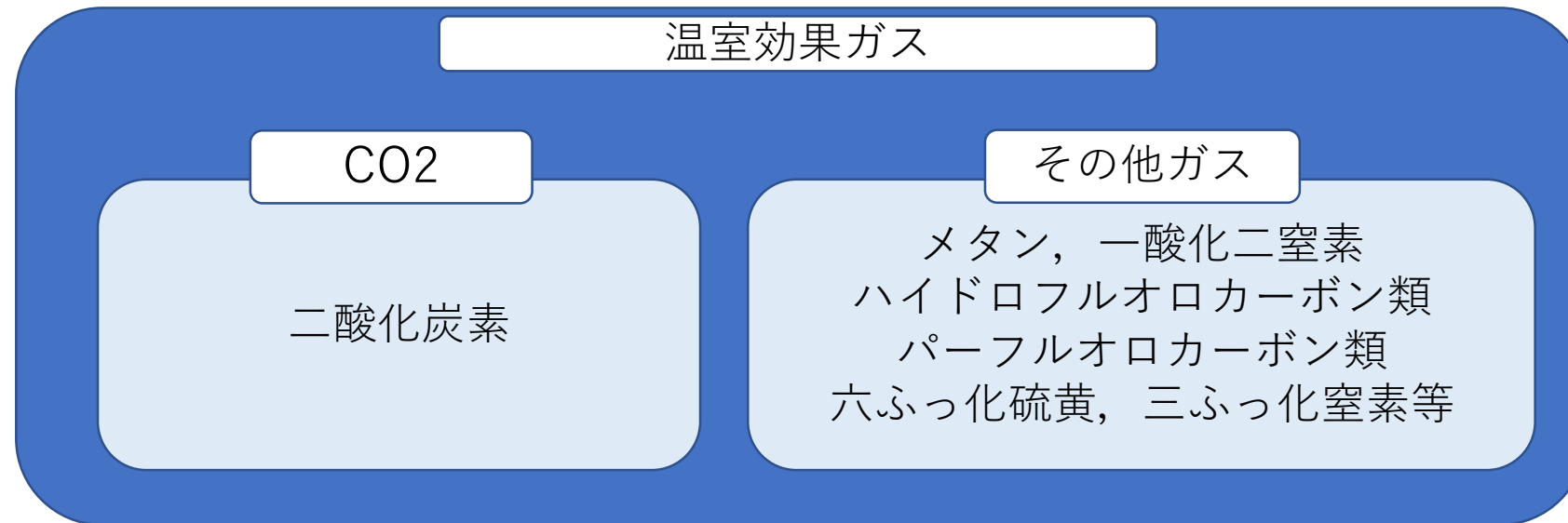
二酸化炭素については、「地方公共団体における施策の計画的な推進のための手引き（平成26年2月，環境省）」で、「産業」「民生（家庭）」「民生（業務）」「運輸」「工業プロセス」「廃棄物」の6部門に分けて算定することとなっています。

但し、「工業プロセス」は、セメント，生石灰，ソーダ石灰等の製造に伴う排出部門であり，本市内では当該部門に相当する事業者は非常に少ないことから，本市においては，「工業プロセス」を除いた5部門で推計を行うこととしています。

1 温室効果ガス排出量の算定方法について

温室効果ガスの種類

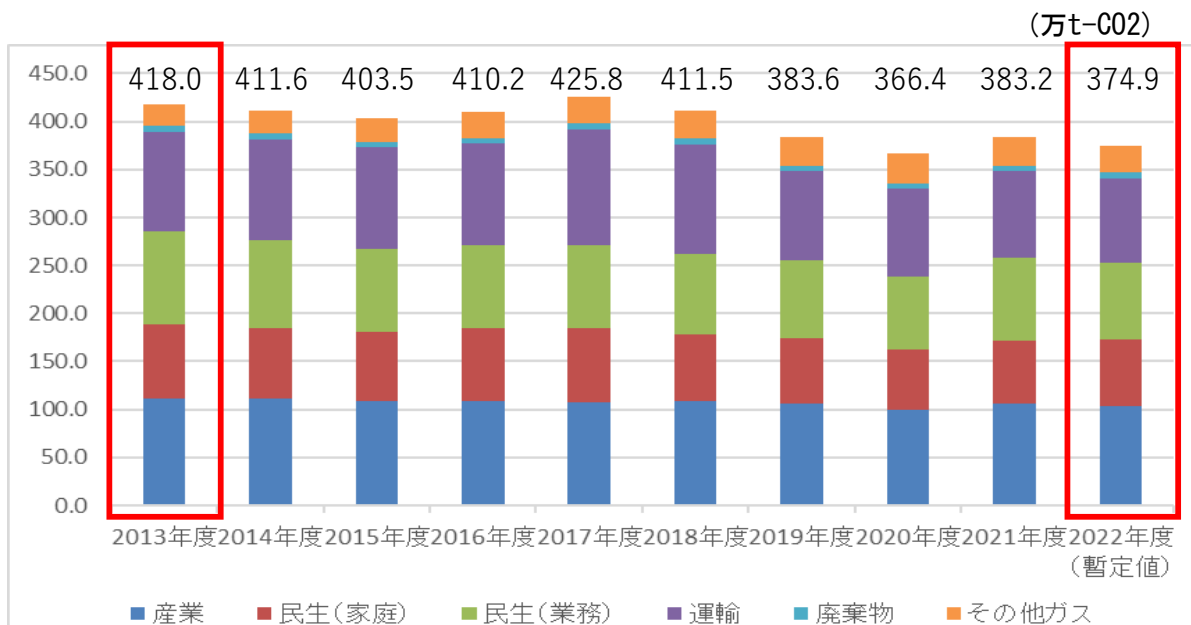
温室効果ガスの種類は、二酸化炭素（以下「CO₂」という。）、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素等がありますが、その大部分が二酸化炭素であるため、推計する際は、「CO₂」と「その他ガス」として算定しています。



宇都宮市における2022（令和4）年度の温室効果ガス排出量は374.9万t-CO₂でした。

これは、2021（令和3）年度と比べ▲2.2%（8.3万t-CO₂）の減少となっています。また、基準年の2013（平成25）年度と比べると▲10.3%（43.1万t-CO₂）の減少となりました。

2021（令和3）年度と比べて、温室効果ガス排出量が減少した主な要因は、産業部門が▲3.0%（3.2万t-CO₂）、民生（業務）部門が▲7.2%（6.1万t-CO₂）減少したことが大きく影響したものと考えられます。これらについては、各部門において節電や省エネ努力等の効果により、各部門の排出量が減少したものと推測されます。



	2013年度	2021年度	2022年度 (暫定値)	2013から 2022年の変化量(%)	2021から 2022年の変化量(%)
二酸化炭素	396.0	354.2	346.5	▲12.5%	▲2.2%
産業	110.9	106.3	103.1	▲7.0%	▲3.0%
民生(家庭)	78.3	65.2	69.3	▲11.5%	6.2%
民生(業務)	96.2	85.9	79.8	▲17.1%	▲7.2%
運輸	104.1	90.9	88.3	▲15.2%	▲2.9%
廃棄物	6.5	5.9	6.0	7.7%	2.0%
その他ガス	22.0	28.9	28.4	▲29.2%	▲2.0%
合計	418.0	383.2	374.9	▲10.3%	▲2.2%

3 宇都宮市と全国の二酸化炭素排出量

(1) 全体

全国での2022（令和4）年度の二酸化炭素排出量は10億3,700万t-CO2でした。これは、2021（令和3）年度と比べ▲2.1%（2,700万t-CO2）の減少となっています。

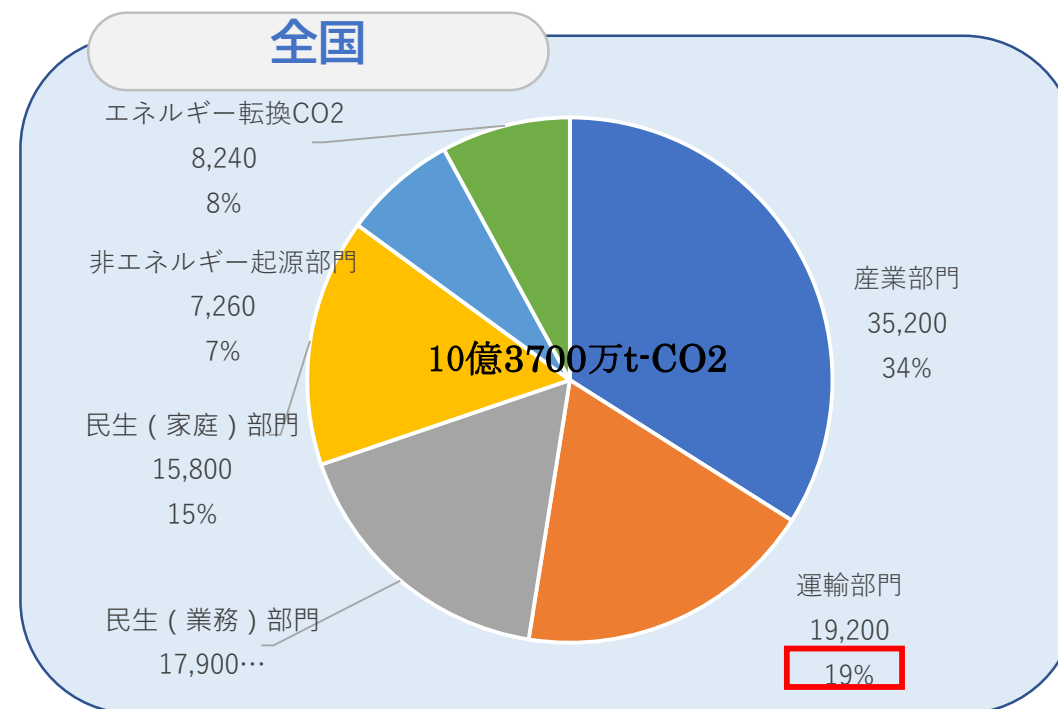
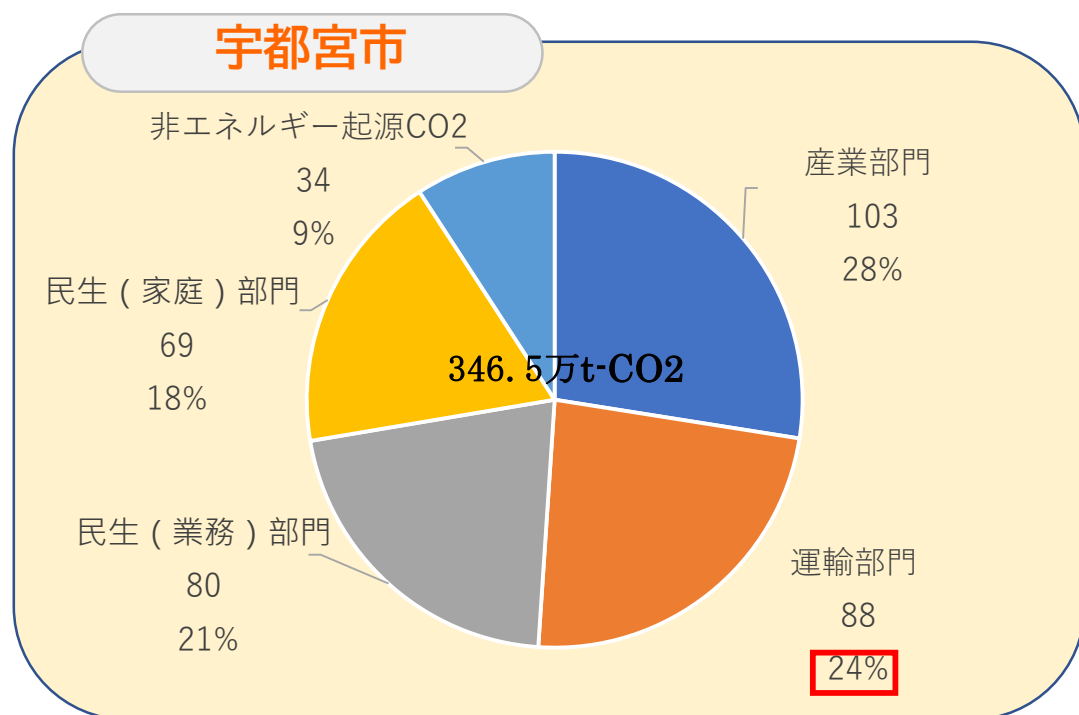
また、基準年の2013（平成25）年度と比べると▲21.3%（2億8090万t-CO2）の減少となり、全国に比べ、宇都宮市（▲12.5%）と差があります。これは、2021年度比において全国的には民生（家庭部門）が減少している中、宇都宮市は増加していることが影響したものと考えられます。

宇都宮市と全国の比較

部門	国					宇都宮市					国と市の変化量 (2021年度)の 差
	2013年度 (基準年)	2021年度	2022年度			2013年度 (基準年)	2021年度	2022年度 (暫定値)			
			排出量	変化量 (2013年 度)	変化量 (2021年 度)			排出量	変化量 (2013年 度)	変化量 (2021年 度)	
二酸化炭素	131,700	106,400	103,700	▲21.3%	▲2.1%	396.0	354.2	346.5	▲12.5%	▲2.2%	▲0.1%
産業	46,300	37,200	35,200	▲24.0%	▲5.3%	110.9	106.3	103.1	▲7.0%	▲3.0%	2.3%
民生 (家庭)	20,900	16,000	15,800	▲24.5%	▲1.4%	78.3	65.2	69.3	▲11.5%	6.2%	7.6%
民生 (業務)	23,500	18,700	17,900	▲23.6%	▲4.2%	96.2	85.9	79.8	▲17.1%	▲7.2%	▲3.0%
運輸	22,400	18,500	19,200	▲14.5%	3.9%	104.1	90.9	88.3	▲15.2%	▲2.9%	▲6.8%
エネルギー転換部門	10,400	8,290	8,240	▲20.3%	▲0.03%	－	－	－	－	－	－
非エネルギー起源 C O 2	8,220	7,660	7,260	▲11.7%	▲5.2%	6.5	5.9	6.0	▲7.7%	1.6%	6.8%
その他ガス	8,980	10,040	9,890	10.1%	▲1.5%	22.0	28.9	28.4	29.2%	▲2.0%	▲0.5%
合計	140,700	116,400	113,500	▲16.9%	▲2.5%	418.0	383.2	374.9	▲10.3%	▲2.2%	0.3%

3 宇都宮市と全国の二酸化炭素排出量

全国の構成比と比較すると、宇都宮市の運輸部門は、全国より 5% 高い割合を示しています。これは栃木県が一人あたりの 自家用車保有率全国第5位 であり、県内最大の人口を占める宇都宮市でも移動手段のほとんどを自動車に依存していることが原因の一つとして挙げられます。



3 宇都宮市と全国の二酸化炭素排出量

(2) 部門別

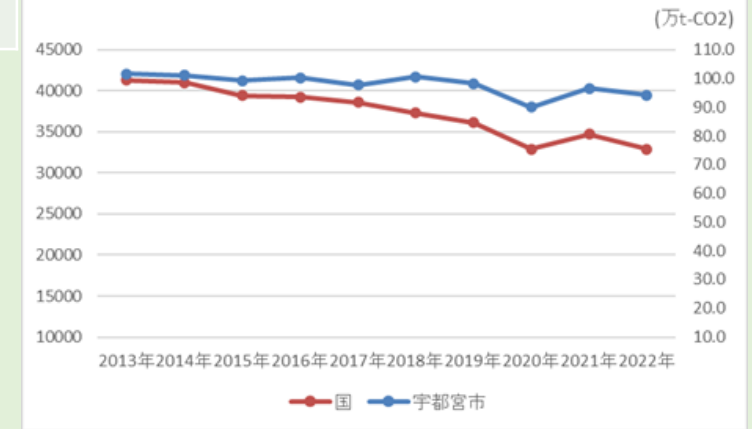
産業・民生（業務）部門

	国	宇都宮市
産業	35,200	103.1
民生（業務）	17,900	79.8

(万t-CO2)

全国と同様に宇都宮市でも前年度から減少しています。
これは新型コロナウイルス感染症で落ち込んでいた経済活動の回復等とあわせた脱炭素経営への転換が2つの部門の減少に影響しています。

また、本市(▲7.0%)と全国(▲24.0%)を比べた場合、産業部門の基準年である2013年度比では大きな差があります。これは、基準年からの製造業の削減率が全国より低いことが影響しています。



国・市の製造業における排出量の推移

民生（家庭）部門

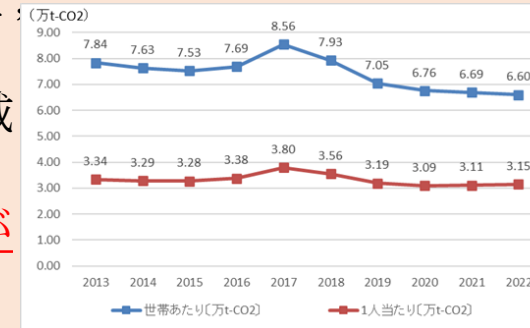
	国	宇都宮市
民生（家庭）	15,800	69.3

(万t-CO2)

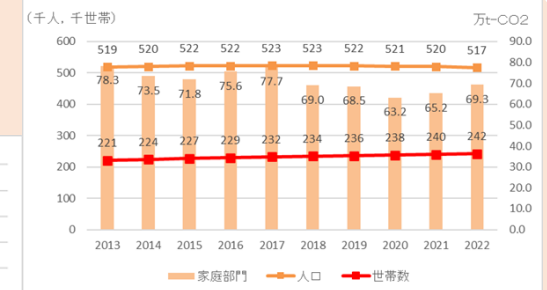
宇都宮市の家庭部門(▲11.5%)については、2013年度比では削減率が大きいものの全国(▲24.5%)と比較すると13%と大きな差があります。

これは、冬季が2021年度より暖かく、暖房等の需要が減少したことにより、エネルギー消費量が減少した一方で、本市では、電力の使用量の増加や単身世帯や核家族世帯が増加しており、エネルギー効率の低さ※が影響しているものと考えられます。

※一般的に人数の少ない世帯においては、一人あたりのエネルギー使用量が多くなる。



1世帯・1人あたりの年間CO2排出量

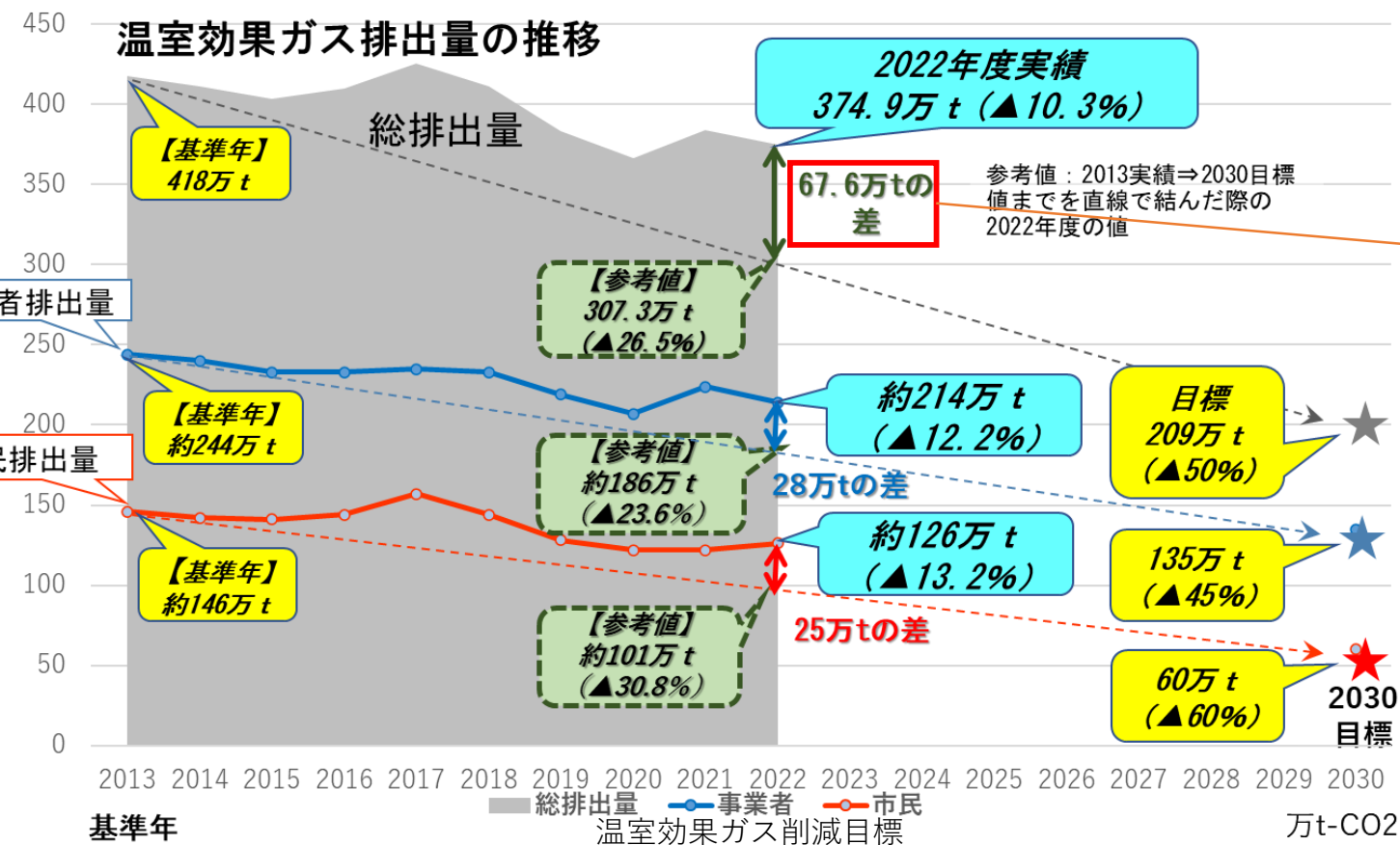


家庭部門の温室効果ガス排出量と人口・世帯数の推移

3 宇都宮市と全国の二酸化炭素排出量

(3) 主体別（宇都宮市カーボンニュートラルロードマップについて）

市ロードマップでは、温室効果ガス削減目標として、令和12年度（2030年度）までに2013年度（平成25年度）比50%削減を掲げるとともに、市民・事業者・行政の各主体が“我が事”として捉え、脱炭素化に取り組んでいただけるよう、主体別の目標値を設定しています。



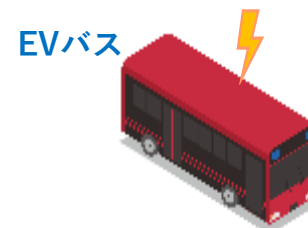
温室効果ガス排出量の推移をみると、2022年度（令和4年度）の排出量は参考値※と比較して、約68万tの乖離があります。

また、各主体別の排出量においても、参考値を上回っており、更なる温室効果ガスの削減が必要な状況です。

※参考値...基準値と目標値を直線で結んだ各年度の値

4 今後の取組について

- ・ 温室効果ガス削減目標の達成に向けて、2024年（令和6年）2月に宇都宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定しました。
- ・ 宇都宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、今般の部門別や主体別の排出状況を踏まえ、市民の「脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた実践」や事業者の「脱炭素経営」等をより一層促進するほか、運輸部門では「公共交通の脱炭素化」に重点的に取り組む等、各種市民・事業者における施策事業を計画的・総合的に推進していきます。



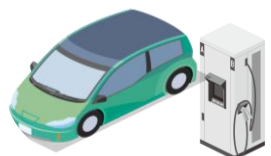
コラム

わたしたちのライフスタイルに関連して排出される温室効果ガスは、全体の約6割を占めるとも言われており、住まいや移動手段などに直接起因するものだけではなく、たとえば製品やサービスの選択ひとつとっても、製造から廃棄に至るまでに排出される温室効果ガスの存在があることを忘れてはなりません。

①本市は今年度から、カーボンニュートラルの実現に向け、市民一人ひとりの環境問題への関心を高め、できることから始められるよう、環境にやさしい行動（エコ活動）に対してポイントを付与する「みやエコ・アクション・ポイント」を実施しています。
協力店などでエコアクションを実施するとポイントが貯まり、貯めたポイントは好きな商品と交換できますので、ぜひこの機会にご参加ください。

②また、太陽光発電システムや給電性能を備えたBEV（電気自動車）に対する補助金も実施しておりますのでご活用ください。

その他にも、「スマートムーブ」や「食事を食べ残さない」など、すぐにでもチャレンジできる取組もありますので、自分たちに何ができるか、家族やみんなで話し合ってみましょう。



②



①



まずは会員登録から
アプリで簡単！会員登録！

「エコ・アクション・ポイント」アプリをダウンロード



宇都宮市の温室効果ガス排出量の推移

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (暫定値)
二酸化炭素	396.0	387.8	378.3	383.0	397.9	382.6	354.0	335.8	354.2	346.5
産業	110.9	110.8	108.7	109.3	107.5	109.2	106.3	99.7	106.3	103.1
民生（家庭）	78.3	73.5	71.8	75.6	77.7	69.0	68.5	63.2	65.2	69.3
民生（業務）	96.2	92.0	86.8	86.9	85.3	83.3	80.9	76.0	85.9	79.8
運輸	104.1	105.4	105.7	105.7	121.5	114.8	92.2	90.8	90.9	88.3
廃棄物	6.5	6.1	5.3	5.5	5.9	6.3	6.1	6.1	5.9	6.0
その他ガス	22.0	23.8	25.2	27.2	27.9	28.8	29.7	30.6	28.9	28.4
合計	418.0	411.6	403.5	410.2	425.8	411.5	383.6	366.4	383.2	374.9

「宇都宮の環境（環境状況報告書 令和 6 年度版）」 について

【趣旨】

「宇都宮市環境基本計画」に掲げる取組について、令和 5 年度の進捗状況等を「宇都宮の環境（環境状況報告書）」としてとりまとめたことから、その内容について報告するもの

【目次】

1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について
 - (1) 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」の概要
 - (2) 評価方法について
 - (3) 評価結果について
2. 今後の取組等

1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について

(1) 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」の概要

宇都宮市環境基本条例に基づき、宇都宮市環境基本計画に掲げる計画の基本理念や目指す環境都市像の実現に向けた取組の実施状況、指標の進捗状況等について点検を行い、毎年度の状況を報告書として取りまとめ、公表するもの

【参考】宇都宮市環境基本条例（抄）

第19条 市長は、毎年度、環境の状況並びに環境の保全及び創造に関する施策の実施状況を明らかにした報告書を作成し、公表する。

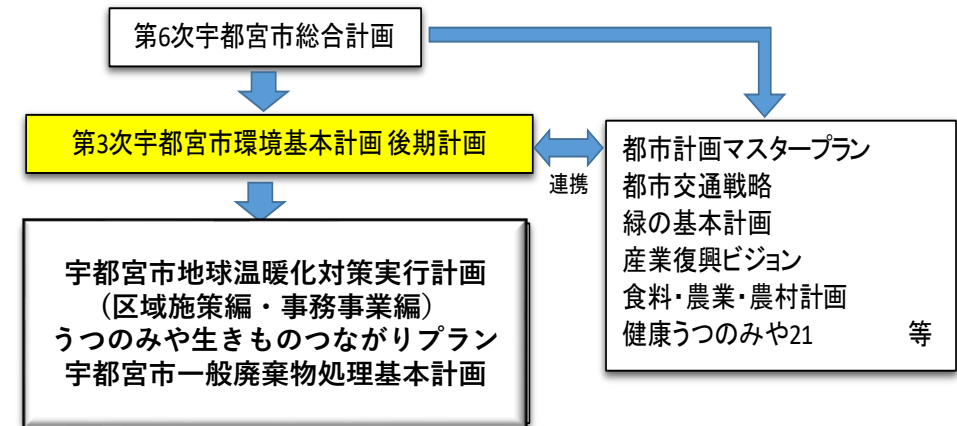
【環境基本計画の概要】

位置付け

- ・「第6次宇都宮市総合計画」の基本施策
「環境への負荷を低減する」における個別計画
- ・「宇都宮市地球温暖化対策実行計画」等の上位計画
- ・SDGsの達成に貢献するもの

計画期間

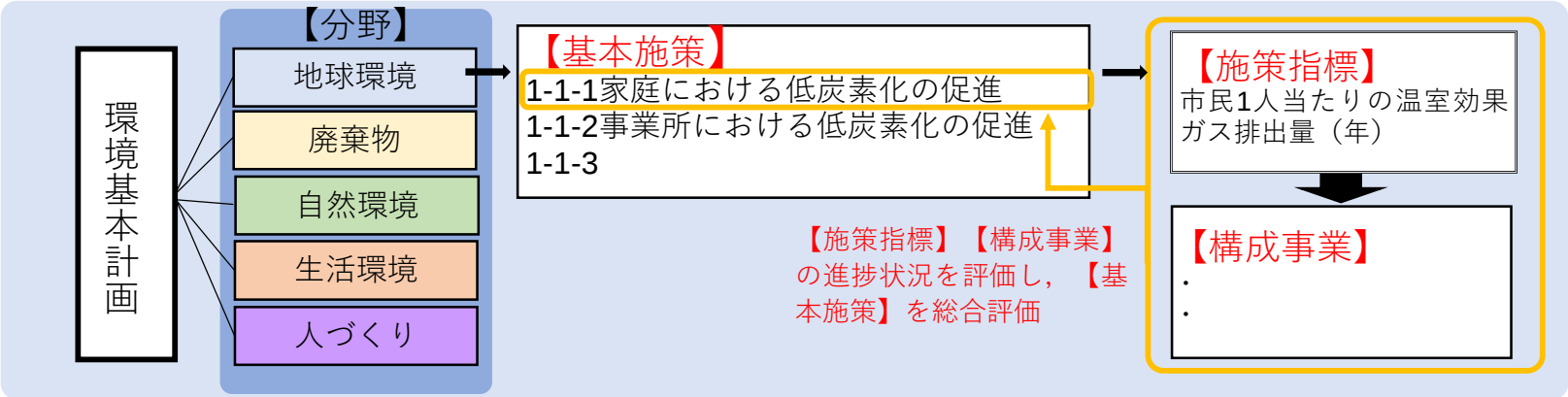
令和3年度（2021年度）から
令和7年度（2025年度）まで



1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について

(2) 評価方法について

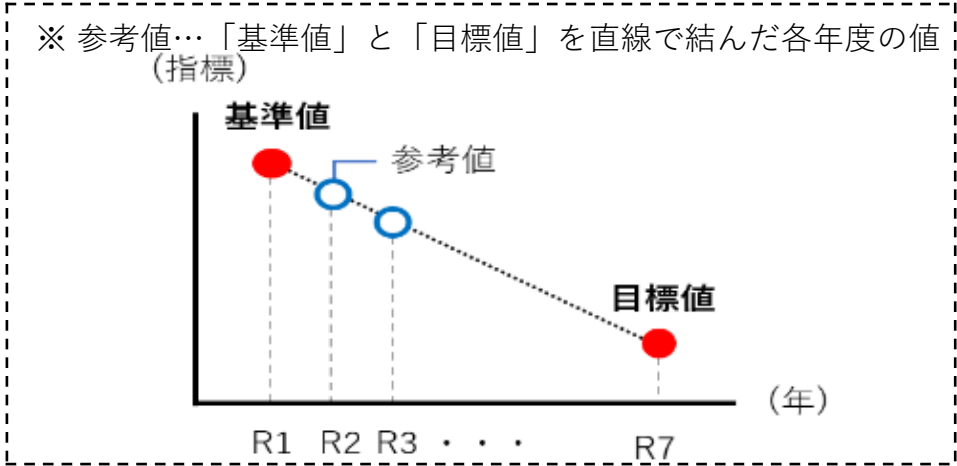
- 第3次宇都宮市環境基本計画（後期計画）の令和5年度における進捗状況について評価する。
- 5つの分野（地球環境、廃棄物、自然環境、生活環境、人づくり）において、基本施策ごとに設定している施策指標及び構成事業について評価し、その評価に基づき、基本施策の総合評価を行う。
- また、令和6年2月に「宇都宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定したことから、本編においては、新たに定めた数値を目安値として記載している。



ア 施策指標

各年度の施策指標の進捗状況の評価については、評価対象年度の実績値と参考値※を比較し、その達成度に応じて「A」「B」「C」で評価する。

評価	A	B	C
達成度 (評価基準)	100%以上	70%以上 100%未満	70%未満



1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について

イ 構成事業

事業の進捗により評価する。評価の基準は、各課の事務概要のスケジュール等に照らし、「計画以上」「計画どおり」「計画より遅れ」で評価する。

ウ 基本施策の総合評価

各基本施策の施策指標及び構成事業の評価に基づき、「順調」「概ね順調」「やや遅れ」で評価する。

【基本施策の総合評価方法】

項目 \ 評価	A	B	C
① 施策指標	100%以上	70%以上 100%未満	70%未満
② 構成事業	「計画以上」が 2以上	「計画どおり」が 4以上	「計画より遅れ」が 2以上
(構成事業が3つ以下 の場合)	「計画以上」が 1以上	「計画どおり」が 構成事業数と同数	「計画より遅れ」が 1以上
総合評価 (①+②)	上記①②の合計により判定		
	順調	概ね順調	やや遅れ
	評価不能がない かつ AまたはBが 1つ以上	Bが2つ または AとCが1つずつ または Aと評価不能	Cが2つ または BとCが1つずつ または BまたはCと評価不能

1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について

(3) 評価結果について

※詳細は、別紙1「宇都宮の環境（令和6年度版 環境状況報告書）【概要版】」

ア 施策指標

- 「35指標」のうち「31指標」が「A評価」または「B評価」
⇒ 全体の約9割が「A評価」「B評価」
- 「4指標」がC評価
【「C評価」となった指標】

【施策指標の評価】

分野	評価		
	A	B	C
地球環境	2	5	1
廃棄物	5	0	1
自然環境	2	3	2
生活環境	4	4	0
人づくり	3	3	0
合計	16	15	4

分野	基本施策 施策指標		R1 基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7 目標値	要因分析・今後の方針
地球環境	【基本施策】1-3-3 気候変動への対応策の推進	目標値 (参考値)	—	2回	3回	5回	7回	8回	10回	令和5年度は当該テーマに関する講座希望が前年度よりも減少したことによりC評価となったものの、適応を含めた地球温暖化対策について広く講座を実施している状況にある。今後もカーボンニュートラルの実現に向けて、幅広い世代を対象に普及啓発に取り組んでいく。
	【施策指標】 適応をテーマとした出前講座等の数 (年)	実績値	—	3回	1回	5回	1回			
廃棄物	【基本施策】2-2-2 各主体による資源化の促進	目標値 (参考値)	67回	68回	68回	69回	69回	70回	70回以上	地区文化祭などへの出展機会が増加（3回⇒10回）したことなどにより、開催依頼が減少したものと考えられるが、全体の参加者数は増加（1,557人⇒1,883人）しており、より多くの市民への周知啓発につながっている。今後は、幅広い世代を対象とする周知に取り組み、分別講習会等を依頼する団体等の裾野の拡大を図る必要がある。
	【施策指標】 市民から依頼のあった分別講習会と 出前講座の開催件数（年）	実績値	67回	5回	11回	56回	46回			
自然環境	【基本施策】3-1-1 生物多様性保全に関する意識の醸成	目標値 (参考値)	33.6%	33.6%	41.9%	50.2%	58.4%	66.7%	75%	生物多様性保全に関する意識の醸成については、様々な広報媒体を活用した情報発信や自然とふれあう体験型プログラムを実施しているものの、生物多様性の認知度は低下し、C評価となった。今後は、生物多様性の認知度の向上を図るため、情報発信媒体や展示の内容を見直すなど、周知啓発を強化していく。
	【施策指標】 「生物多様性」の言葉の意味を 知っている市民の割合（年） (生物多様性の認知度)	実績値	33.6%	33.6%	40.8%	44.6%	34.7%			
	【基本施策】3-2-1 農地等の多面的機能の維持向上	目標値 (参考値)	39.3%	46.1%	52.9%	59.7%	66.4%	73.2%	80%	令和5年度から3組織が新しく活動を開始し、カバー率が微増したが、目標値に届かなかった。今後は、カバー率の向上を図るため、既存組織や組織活動を行っていない地域に対し、個別説明会や地域からの相談等の機会を捉え、本市の現状や課題等を示しながら、活動の継続や活動面積の拡大、新規組織の立ち上げを促進していく。
	【施策指標】 市内農地における環境保全活動 カバー率	実績値	39.3%	38.1%	38.8%	38.6%	39.9%			

1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について

イ 構成事業

- 「168事業」のうち「167事業」が「計画どおり」
- 「1事業」が「計画より遅れ」

【構成事業の評価】

分野	評価		
	計画以上	計画通り	計画より遅れ
地球環境	－	40	－
廃棄物	－	28	－
自然環境	－	52	1
生活環境	－	18	－
人づくり	－	29	－
合計	0	167	1

【「計画より遅れ」となった事業】

分野	構成事業	要因分析・今後の方針
自然環境	うつのみや生きものつながり活性化事業※の推進	うつのみや生きものつながり活性化事業※について、マッチング第1号による保全活動が6回開催（のべ151人参加）されたが、事業開始以降、活動団体が1組にとどまっていることによるもの。市民団体の登録を増やすため、情報収集を行い登録に向けた働きかけを効果的に行うとともに、事業者に対しては、あらゆる機会を捉えた登録市民団体の紹介を行い、本事業を活用した新たな活動団体の獲得を目指していく。

※うつのみや生きものつながり活性化事業とは…
自然を守る活動のノウハウやフィールドを持つ市民団体と環境保全活動を通じた社会貢献に意欲のある事業者をマッチングし、自然を守る活動の活性化を目指す事業

1. 「宇都宮の環境（環境状況報告書）」について

ウ 基本施策の総合評価

- 「35施策」のうち「31施策」が「順調」「概ね順調」
⇒ 全体の約9割が「順調」「概ね順調」
- 「4施策」が「やや遅れ」

【基本施策の総合評価】

分野	評価		
	順調	概ね順調	やや遅れ
地球環境	2	5	1
廃棄物	5	0	1
自然環境	2	3	2
生活環境	4	4	0
人づくり	3	3	0
合計	16	15	4

【「やや遅れ」となった基本施策】

分野	基本施策	施策指標の評価	構成事業の評価	要因分析・今後の方針
地球環境	1-3-3 気候変動への対応策の推進	C評価	B評価	各施策とも、構成事業は全て「計画通り」であるが、施策指標が「C評価」のため、施策の評価は「やや遅れ」となっている。 引き続き、各事業を計画的に推進するほか、各施策指標の達成に向けて、取組を強化する必要がある。 ※「C評価」の理由は18スライド参照
廃棄物	2-2-2 各主体による資源化の促進	C評価	B評価	
自然環境	3-1-1 生物多様性保全に関する意識の醸成	C評価	B評価	
	3-2-1 農地等の多面的機能の維持向上	C評価	B評価	

2. 今後の取組等

(1) 今後の取組

引き続き、第3次宇都宮市環境基本計画（後期計画）に基づき、総合的・体系的に各種事業を推進していく。

地球環境分野	<u>カーボンニュートラルの実現に向けて、より一層、温室効果ガス排出削減の強化が求められるため、令和6年2月に策定した「地球温暖化対策実行計画」に基づき、削減目標の達成に向けて、各種事業を推進</u>
廃棄物分野	引き続き、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、 <u>ごみの発生抑制や資源化、適性な処理を推進</u>
自然環境分野	引き続き、「うつのみや生きものつながりプラン（宇都宮市生物多様性地域計画）」に基づいた生物多様性の保全を推進するとともに、令和6年2月に策定した <u>「宇都宮市食料・農業・農村基本計画」に基づき、市内農地における環境保全活動を推進</u>
生活環境分野	引き続き、法令に基づく工場や事業場への立入検査や指導等を推進
人づくり分野	イベント・講座の開催や各種啓発事業等について、 <u>オンライン方式やSNS等を活用し、より一層効果的に推進</u>

(2) 今後のスケジュール

令和7年 3月26日 第49回 宇都宮市環境審議会
3月下旬 市HP等で環境状況報告書を公開